



株式会社ヤクルト本社

第67期 株主通信 中間期

平成30年4月1日 ~ 平成30年9月30日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集 おなかMapで見る
それぞれの場所ではたらく“菌”がちがう
ヤクルトのプロバイオティクス商品ラインアップ
- 11 コラム YouTube
「株式会社ヤクルト本社 公式チャンネル」を開設！
「2018ヤクルト世界大会」を開催！
- 13 会社情報



乳酸菌 シロタ株マン



ビフィズス菌 BY株マン

★ To Our Shareholders / Highlights of Consolidated Financial

ごあいさつ



代表取締役社長

根岸考成

平素は格別のご高配を賜り、あつく御礼申しあげます。

ここに、平成30年4月1日から平成30年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申しあげます。

平成30年12月

当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調が続いています。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、国際事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結

連結業績 ハイライト

● 売上高

(億円)

4,500

3,000

1,500

0

63期

2014年度

1,804

64期

2015年度

1,942

65期

2016年度

1,889

66期

2017年度

1,977

67期

2018年度

2,035

■ 第2四半期 ■ 通期

3,679

3,904

3,783

4,015

第2四半期

通期



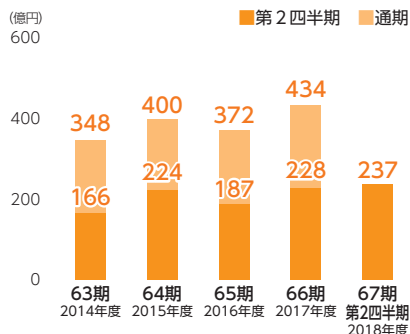
私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

売上高は2,035億円(前年同期比2.9%増)となりました。利益面においては、営業利益は237億円(前年同期比4.3%増)、経常利益は295億円(前年同期比

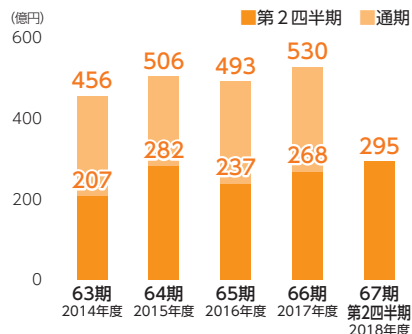
9.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は213億円(前年同期比19.2%増)となりました。

	当第2四半期連結累計期間	通期の見通し
売上高	2,035 億円 (前年同期比 2.9% 増)	4,180 億円 (前期比 4.1% 増)
営業利益	237 億円 (前年同期比 4.3% 増)	480 億円 (前期比 10.4% 増)
経常利益	295 億円 (前年同期比 9.9% 増)	585 億円 (前期比 10.3% 増)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	213 億円 (前年同期比 19.2% 増)	390 億円 (前期比 14.5% 増)

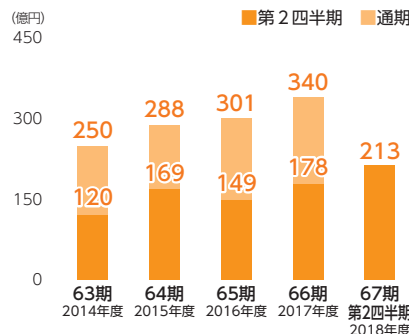
● 営業利益



● 経常利益



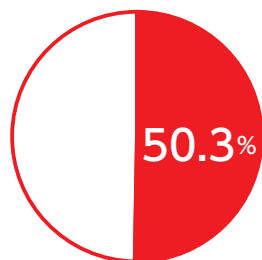
● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



★ Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門(日本)

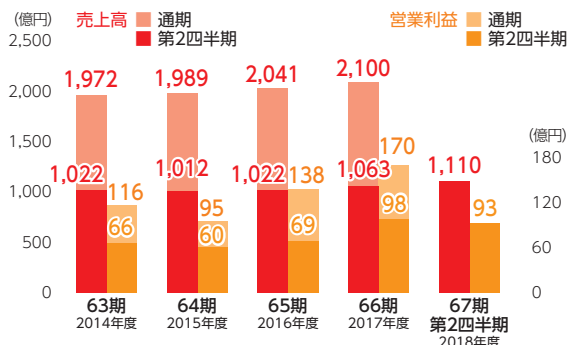


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
1,110 億円
(前年同期比: 4.4% ▲)

営業利益
93 億円
(前年同期比: 5.5% ▼)



日本国内における乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」や「ビフィズス菌 BY株」などの科学性を広く普及するため、エビデンスを活用し、地域に根ざした「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」について、既存のお客さまへの継続飲用の促進および新規のお客さまづくりに努めました。また、商品のお届けをインターネット上で申し込むことができる「ヤクルト届けてネット」によるサービスについては、昨年より順次エリア拡大を図ってきましたが、9月から全国展開することで、新たなお客さまとの接点づくりを強化しました。さらに、宅配組織の強化を図るため、ヤクルトレディの働く環境整備を推進するとともに、採用活動を継続して実施しました。

店頭チャネルにおいては、プロモーションスタッフを活用したお客

さまへの「価値普及」活動を展開し、7月に乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーハーフ」10本マルチパック(つば九郎特別パッケージ)を対象とした「2018プロ野球応援フェア」を実施して、売り上げの増大に努めました。

そのほか、はっ酵乳「ミルミル」類およびのむヨーグルト「ジョア」については、テレビCMを放映しました。あわせて「ミルミル」類については9月にデザインリニューアルを実施し、「ジョア」については7月から9月にかけてディズニーデザインのオリジナルグッズを活用した消費者キャンペーンを展開することで、ブランドの活性化を図りました。

一方、ジュース・清涼飲料については、記録的な猛暑の中、「タフマン」シリーズや「ミネラルチャージ」の売り上げの増大に努めました。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(日本)の連結売上高は1,110億円(前年同期比4.4%増)となりました。

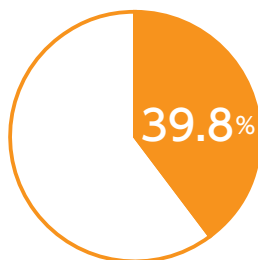


◆ 「ヤクルトレディ」による宅配サービスが「第2回 日本サービス大賞」経済産業大臣賞を受賞

「ヤクルトレディ」による宅配サービスが「第2回 日本サービス大賞」において、経済産業大臣賞を受賞しました(主催:公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会)。時代も国境もこえて親しまれる日本発の宅配サービスであり、女性の社会進出・活躍に貢献している点などが評価されたものです。



飲料および食品製造販売事業部門(海外)



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

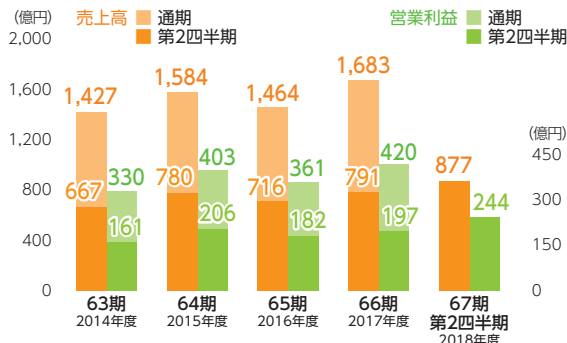
877 億円

(前年同期比：10.8% ▲)

営業利益

244 億円

(前年同期比：23.5% ▲)



米州地域

売上高 247億円 (前年同期比：1.6% ▼)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

同地域では、各国の販売チャネルにおける販売体制強化を図り、売り上げの増大に努めました。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(米州地域)の連結売上高は247億円(前年同期比1.6%減)となりました。

アジア・オセアニア地域

売上高 584億円 (前年同期比：17.0% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」を輸入販売しています。

ミャンマーにおいては、「ヤクルト」の製造、販売開始を予定し準備を進めています。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(アジア・オセアニア地域)の連結売上高は584億円(前年同期比17.0%増)となりました。

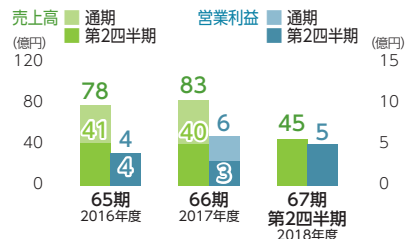
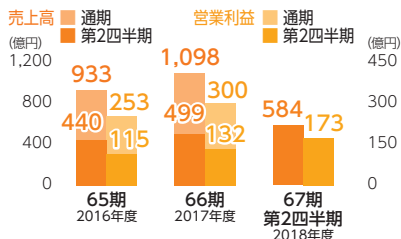
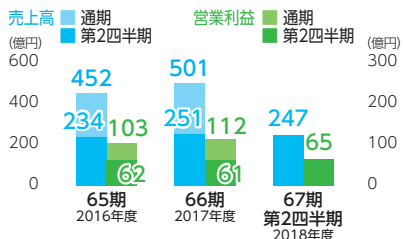
ヨーロッパ地域

売上高 45億円 (前年同期比：11.3% ▲)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

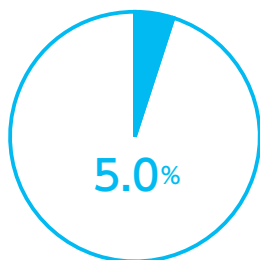
ヨーロッパにおいては、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向け、各種の取り組みを行っています。また、販売環境が厳しい状況にある中で、各国事業所による市場特性に合った販売活動の展開により、持続的成長を目指しました。

これらの結果、飲料および食品製造販売事業部門(ヨーロッパ地域)の連結売上高は45億円(前年同期比11.3%増)となりました。



★ Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

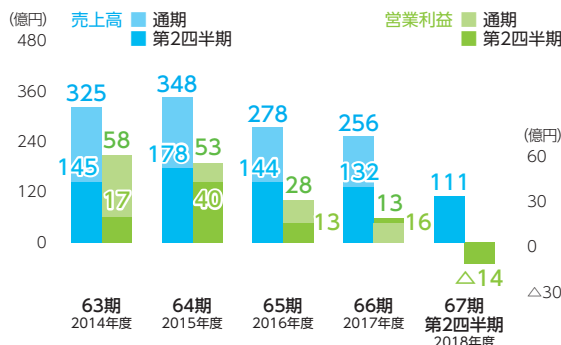
111 億円

(前年同期比：16.2% ↓)

営業利益

△ 14 億円

(前年同期比： - %)



医薬品については、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。

当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、医療関係者を対象とした講演会などを積極的に開催し、シェアの維持・拡大に努めました。後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力や医療関係者との信頼関係により、引き続き「エルプラット」を選択してもらう活動を展開しました。また、サノフィ社と共同プロモーション活動を推進している抗悪性腫瘍剤「ザルトラップ®」については、大腸がん領域における浸透を促進するため、積極的に情報提供を実施しました。そのほか、後発医薬品の当社の主力製品である代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピン『ヤクルト』」などの販路拡大にも努めました。しかしながら、4月に実施された薬価基準改定により、大半

の当社製品の薬価が引き下げられ、売り上げに大きく影響しました。

一方、研究開発においては、9月に「エルプラット」および活性型葉酸製剤「レボホリナート『ヤクルト』」について、小腸がんに対する効能・効果の追加に係る承認を取得しました。これは、厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が高いと判断され、公知申請を行っていたものです。そのほか、6月にベラステム社(米国)と日本における開発および商業化に関する独占的ライセンス契約を締結したPI3K阻害剤「デュベリシブ」や、4SC AG社(ドイツ)から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」などの開発品目の臨床開発を推進しました。これらにより、今後、がんおよびその周辺領域において、さらなる強固な地位の確立を目指します。

これらの結果、医薬品製造販売事業部門の連結売上高は111億円(前年同期比16.2%減)となりました。

NEWS & TOPICS 2018

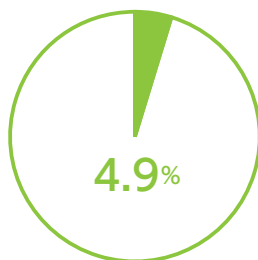
◆ ヤクルトレディによるお届けのインターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」の対象エリアを拡大

当社では注文・支払い方法の拡充による顧客満足の向上を目指し、2017年度よりインターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」を開設しました。2018年9月より対象エリアを北海道、中国地方、四国地方、九州地方にまで拡大したことで、本サービスの利用が全国(一部エリアを除く)でできるようになりました。

ヤクルト届けてネット



その他事業部門



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

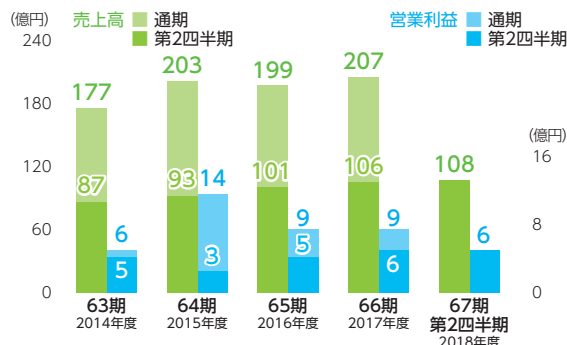
108 億円

(前年同期比： 1.8% ▲)

営業利益

6 億円

(前年同期比： 8.6% ▲)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分[S.E.(シロタエッセンス)]の「価値普及」に重点をおき、基礎化粧品の主力ブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動を継続して展開することにより、愛用者数の増大に努めました。

また、第2四半期では「ヤクルト スキンクリアリキッド」および「ラクトデュウS.E.ローション」による「夏の保湿」をテーマとした販売活動をとおして、季節に応じた商品・サービスを提供することによ

り、お客さま満足の上昇を図るとともに、売り上げの増大に努めました。

一方、プロ野球興行については、神宮球場において各種イベントを通じたファンサービスやさまざまな情報発信を行い、入場者数の増大と売上増加に努めました。

これらの結果、その他事業部門の連結売上高は108億円(前年同期比1.8%増)となりました。

◆お肌のハリ・弾力にアプローチする美容液 「ビサイクル リフトリペア エッセンス」をリニューアル発売

「ビサイクル リフトリペア エッセンス」は、ビフィズス菌研究から生まれた「ビフィズス菌はっ酵エキス(大豆)」を主とした当社オリジナルの保湿成分を配合した美容液です。このたび、配合成分やデザインを一新し、2018年11月9日にリニューアル発売しました。お肌にふっくらとしたハリ・弾力を与え、うるおいに満ちたひきしまった印象に導きます。



★ Consolidated Financial Statements

第2四半期連結貸借対照表

単位：億円

科目	第66期 平成30年3月31日現在	第67期第2四半期 平成30年9月30日現在
資産の部		
流動資産	2,452	2,488
固定資産	3,817	3,799
有形固定資産	2,011	1,978
無形固定資産	57	54
投資その他の資産	1,748	1,766
資産合計	6,270	6,288
負債の部		
流動負債	1,618	1,582
固定負債	785	773
負債合計	2,403	2,356
純資産の部		
株主資本	3,389	3,553
資本金	311	311
資本剰余金	415	416
利益剰余金	3,185	3,373
自己株式	△ 523	△ 547
その他の包括利益累計額	132	33
その他有価証券評価差額金	352	374
為替換算調整勘定	△ 207	△ 330
退職給付に係る調整累計額	△ 12	△ 10
非支配株主持分	344	344
純資産合計	3,866	3,931
負債・純資産合計	6,270	6,288

第2四半期連結損益計算書

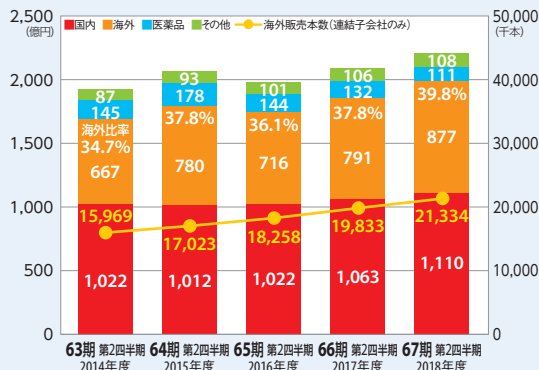
単位：億円

科目	第66期第2四半期累計 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	第67期第2四半期累計 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
売上高	1,977	2,035
売上原価	839	854
売上総利益	1,137	1,180
販売費及び一般管理費	909	942
営業利益	228	237
営業外収益	63	66
受取利息	18	20
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	24	21
その他	9	12
営業外費用	22	9
支払利息	3	3
為替差損	15	—
その他	3	5
経常利益	268	295
特別利益	0	22
投資有価証券売却益	—	16
その他	0	5
特別損失	0	1
税金等調整前四半期純利益	268	316
法人税等	68	77
四半期純利益	199	238
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	178	213

第67期第2四半期のポイント

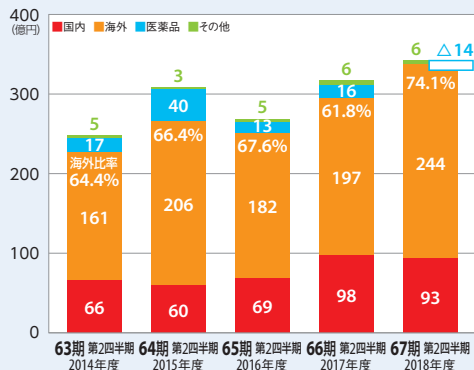
1. 全体：増収・増益
2. 国内飲料：乳製品販売実績は猛暑・豪雨等の影響もあり前年並み、生産機器売上上の増加により増収、経費増等により減益
3. 海外飲料：アジアを中心とした販売本数増および価格改定効果等により増収・増益
4. 医薬品：薬価改定および研究開発費の増加により減収・減益

▶ 売上高推移（連結）



(注) セグメント間売上上の消去前金額で表示しています。

▶ 営業利益推移（連結）



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 単位：億円

科目	第66期第2四半期累計 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	第67期第2四半期累計 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	263	224
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 146	△ 133
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 80	△ 80
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△ 37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53	△ 26
現金及び現金同等物の期首残高	951	1,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,004	1,032

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益316億円、減価償却費等があったことにより、224億円(前年同期比38億円の収入減)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の預入や生産設備の新設、増設および更新による固定資産の取得があったことにより△133億円(前年同期比12億円の支出減)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入およびリース債務の返済や配当金の支払い等により△80億円(前年同期比0億円の支出増)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<https://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

おなかMapで見る **それぞれの場所ではたらく“菌”がちがう**
ヤクルトのプロバイオティクス商品ラインアップ

ヤクルトは、生命科学を基盤とした独自のプロバイオティクス研究の成果を安全性と質の高さにこだわって製品化しています。この特集記事では、そんなヤクルトの主要商品を“おなかMap”でご紹介します。



乳酸菌 シロタ株

腸 ではたらく

ヤクルト独自の強い菌

乳酸菌 シロタ株が1本(80ml)に300億個入った、甘さスッキリ大人のための乳製品乳酸菌飲料です



ヤクルトAce



ヤクルト400

生きて腸内に到達する乳酸菌 シロタ株が1本(80ml)に400億個入った、乳製品乳酸菌飲料



ヤクルト400LT

「ヤクルト400」に比べ、カロリー30%カット、甘さひかえめの乳製品乳酸菌飲料



シンバイオティクス ヤクルトW

乳酸菌 シロタ株とガラクトオリゴ糖をW(ダブル)で含む乳製品乳酸菌飲料



毎日飲むヤクルト

乳酸菌 シロタ株を含む乳製品乳酸菌飲料(セブン&アイグループ限定商品)



Newヤクルト

生きて腸内に到達する乳酸菌 シロタ株が1本(65ml)に200億個入った、乳製品乳酸菌飲料



Newヤクルト カロリーハーフ

「Newヤクルト」に比べ、糖質・カロリーを50%カットした乳製品乳酸菌飲料



ソファール プレーン

乳酸菌 シロタ株が入った、ハードタイプのヨーグルト



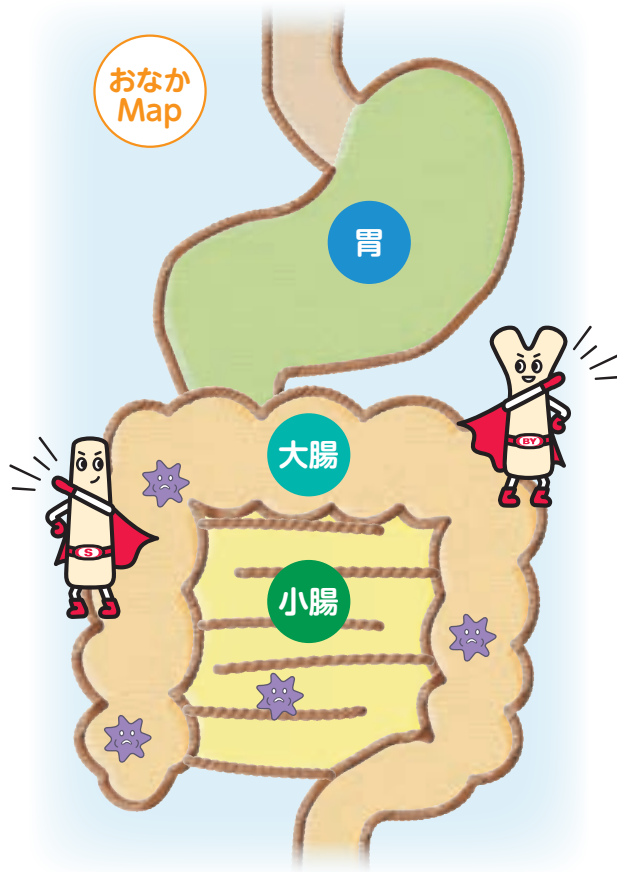
ジョア アロエ(食べるタイプ)

アロエの葉肉の食感とヨーグルトのなめらかな舌ざわりがマッチしたソフトヨーグルト

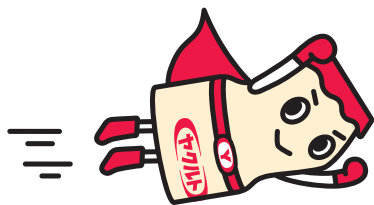


ジョア プレーン

乳酸菌 シロタ株とカルシウムが摂れる、のむヨーグルト



強化培養された菌が胃、小腸、大腸とそれぞれの場所ではたらくします！



胃 ではたらく



B. ビフィダム Y株



BF-1

ストレス社会で生きる現代人のために開発された、乳製品乳酸菌飲料

大腸 ではたらく



ビフィズス菌 BY株



ミルミル



ミルミルS

ビフィズス菌 BY株を1本(100ml)に120億個以上含んだ、のむヨーグルト

GABA



プレティオ

血圧が高めの方におすすめの、乳製品乳酸菌飲料

イソフラボン



ヤクルトのはっ酵豆乳

乳酸菌 シロタ株および豆乳由来の大豆イソフラボンが摂取できる飲料

広告展開も積極的に行っています

女優の川口春奈さんを起用した「シンバイオティクス ヤクルト W」のCMを放映。

- コンビニなど店頭で手軽に購入でき、商品特性を訴求しています。



俳優の松坂桃李さんを起用した「ヤクルト400LT」のCMを放映。

- 「ヤクルト400LT」の商品特性をわかりやすく訴求しています。



女優の渡辺麻友さんを起用した「ヤクルトのはっ酵豆乳」の広告展開。

- パッケージデザインのリニューアルに合わせ商品認知度の向上を図っています。



Renewal

- 「ミルミル」「ミルミルS」の
- パッケージデザインをリニューアル •••

「樺坂46」の平手友梨奈さんを起用した

「ミルミル」類のCMを放映。

- パッケージデザインのリニューアルに合わせ商品認知度の向上を図っています。



ミルミル

スッキリ ミルク味

ヤクルト独自の
ビフィズス菌 BY株
1本(100ml)あたり
120億個以上

ミルミルS

ヨーグルト味

ヤクルト独自の
ビフィズス菌 BY株
1本(100ml)あたり
120億個以上

ガラクトオリゴ糖*
食物繊維
コラーゲン

*ガラクトオリゴ糖は消化管内でビフィズス菌を増加させます。

YouTube 「株式会社ヤクルト本社 公式チャンネル」を開設!



人も地球も健康に
Yakult



幅広い方々にヤクルトについてもっと知っていただくために、
YouTubeに「株式会社ヤクルト本社 公式チャンネル」を開設しています。TVCMやWeb限定ムービーをはじめ、ここだけでしか見れないメイキング映像などを多数公開しています。



多くの方に
ご覧いただいて
います!!

(2018年10月9日現在の再生回数)

今後も
ムービーを
公開予定!



YouTubeの

チャンネル登録

おねがいします!



または、ヤクルト本社ホームページから
<https://www.yakult.co.jp/>

▶ 再生250万回



コンビニに行く同僚になにかをお願いしている川口春奈さん。“四角っまいヤクルト”とは!?

▶ 再生180万回



松坂桃李さんの腸内で一体何が!? 「モー娘。」の楽曲に合わせてダンサーたちが「腸内細菌」になって「腸イカンジ」に踊りまくる!

▶ 再生160万回



伊東四朗さん扮する“タフマン界のレジェンド”とメイプル超合金による“今どきの新生タフマン”のコミカルなやりとり注目!

▶ 再生128万回



平手友梨奈さん(榎坂46)出演ミルミル/ミルミルSのTVCMのメイキング映像。

▶ 再生108万回



渡辺麻友さんがヤクルトレディに転職!? ヤクルトレディのお仕事を壮大なミュージカルで表現!

▶ 再生100万回



渡辺麻友さんが「キュートになりたい(吸収ガール)」の歌に合わせて、いろいろなものを吸収しながらキュートに変身!

「2018ヤクルト世界大会」 を開催！

国内外の優秀な
ヤクルトレディや従業員などが集い、
京都の地で誓う熱き想いと
グループの絆・一体感を共有。

10月28日、当社グループの国内外の優秀なヤクルトレディ(YL)と化粧品販売のヤクルトビューティ(YB)や従業員などが集う「2018ヤクルト世界大会」が、国立京都国際会館で華やかに開催されました。大会のスローガンは「輝く未来と夢の実現～京都の地で誓う熱き想い～」。開催地となった京都は、ヤクルトの創始者である医学博士の代田 稔が1930年に京都帝国大学で乳酸菌 シロタ株の強化培養に成功した地です。この縁の深い地で、国内外のYLとYBや従業員などが一堂に会し、時間を共有しながらグループの一体感や参加者の意識の高揚を図ることは、グローバルな成長を続ける当社グループにおいて、とても重要な意味を持ちます。

当社グループの海外進出は1964年の台湾に始まります。以来、アジア・オセアニア、米州、欧州と順調に愛飲者の輪を拡げ、2018年3月末現在、日本を含む38の国と地域で、約2万6千人の社員と、8万人以上のYLにより事業を展開し、世界の乳製品一日平均販売本数は、3,900万本(2018年3月期実績)にまで達しています。

当日は、優秀なYLの表彰やCMに出演していただいている方々のスピーチなど盛りだくさんの内容で、国内のYLとYBが約1,600名、海外からのYLや従業員が約500名、さらに、本社・販

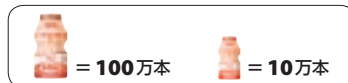
売会社の経営者と従業員・関係者も含め、総勢約2,700名が参加しました。「世界の人々に健康をお届けする」という代田 稔の夢が着々と現実のものとなってきており、その想い、グループの絆・一体感を共有できた大会となりました。



★ Information

現在、日本を含む38の国と地域で、主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、世界中で毎日3,900万人(2018年3月期実績)の方々にご愛飲いただいています。

【世界の乳製品販売本数】



海外：2018年1月～6月の1日当たり平均本数
日本：2018年4月～9月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶ 国と地域：12

▶ 1日当たりの販売本数：66万本

ヨーロッパ地域

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス

THE AMERICAS

▶ 国と地域：6

▶ 1日当たりの販売本数：598万本

米州地域

- ブラジル
- メキシコ
- ウルグアイ
- アメリカ
- カナダ
- ベリーズ

JAPAN

▶ 1日当たりの販売本数：963万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶ 国と地域：19

▶ 1日当たりの販売本数：2,406万本

- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- 中国
- マレーシア
- ニュージーランド
- ベトナム
- インド
- アラブ首長国連邦
- オマーン
- バーレーン
- カタール
- クウェート

会社概要

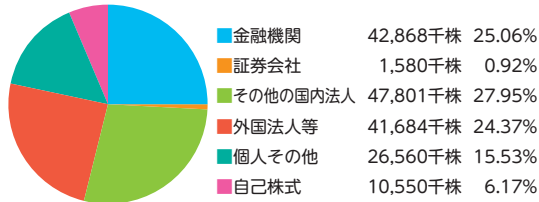
商号 株式会社ヤクルト本社
(Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574)8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,907人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者314人および嘱託121人を含んでいます。

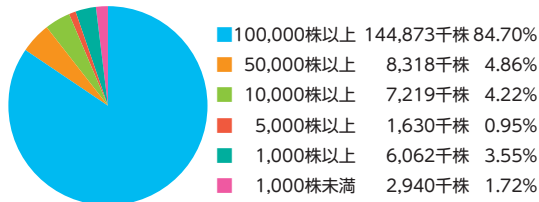
株式の状況

発行可能株式総数 ……………700,000,000株
発行済株式総数 ……………171,045,418株
株主数 ……………24,069名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員

代表取締役社長 根岸 孝成 取締役 林田 哲哉 常勤監査役 阿部 晃範
取締役 川端 美博 取締役 平野 晋 常勤監査役 山上 博資
取締役 成田 裕 取締役 リチャード ホール 監査役 奥平 哲彦
取締役 若林 宏 取締役 安田 隆二 監査役 谷川 清十郎
取締役 石川 文保 取締役 福岡 政行 監査役 小林 節子
取締役 田中 正喜 取締役 前田 典人 監査役 吉田 宏一
取締役 伊藤 正徳 取締役 パスカル・グドパル・ニ 監査役 手塚 仙夫
取締役 土井 明文

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ダノン プロバイオティクス プライベート リミテッド	10,612	6.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,867	4.01
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,402	3.74
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,972	2.32
松尚株式会社	3,417	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,588	1.51
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.44
株式会社みずほ銀行	2,186	1.28

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会を会員とする持株者です。
上表のほか、当社は自己株式10,550千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品「飲料、乾めんの詰め合わせ」を進呈
(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品「飲料、乾めんの詰め合わせ」および「化粧品」を進呈
(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は6月上旬の予定です。

**東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催する
プロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供**

※外野自由席の販売がない試合(全席指定試合)はご利用できません。

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 年間24ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

毎年9月30日現在で100~999株所有の株主の皆さま

- 年間4ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法 電子公告 <https://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)
(郵便物送付先) (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社に
お申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社に問い合わせください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表)

<https://www.yakult.co.jp/>

